



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 サンゲツ

コード番号 8130 URL <http://www.sangetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安田 正介

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 助川 達夫

TEL 052-564-3331

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	31,774	△1.1	2,199	27.1	2,320	18.0	1,601	23.3
27年3月期第1四半期	32,123	6.1	1,731	△15.1	1,967	△11.8	1,298	△6.4

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,821百万円 (0.4%) 27年3月期第1四半期 1,813百万円 (2.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	22.08	—
27年3月期第1四半期	17.04	—

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	139,494	117,467	84.2
27年3月期	143,076	118,758	83.0

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 117,465百万円 27年3月期 118,758百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	37.50	—	45.00	82.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成27年3月期は株式分割前、平成28年3月期(予想)は株式分割後の1株当たり配当金となります。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,500	0.8	3,800	△3.2	3,950	△6.4	2,500	15.9	34.21
通期	135,500	2.6	8,250	2.7	8,550	0.5	5,500	24.9	75.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	72,500,000 株	27年3月期	74,100,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	211,462 株	27年3月期	1,027,076 株
----------	-----------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	72,496,639 株	27年3月期1Q	76,198,727 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(平成27年4月1日～6月30日)のわが国経済は、政府による金融・経済政策の効果に加え、円安や原油価格の下落等を背景に企業業績や雇用の改善が進み、全体としては緩やかな回復基調となりました。しかしながら、物価の上昇から先行きは依然不透明な状況で、個人消費は小幅な改善に留まりました。当社事業に関連の深い住宅市場においては、新設住宅着工戸数が今年3月から3ヵ月連続で前年比プラスになるなど、緩やかながら持ち直しの兆しが見え始めました。

このような状況のもと、当社グループでは、“中期経営計画(2014-2016) Next Stage Plan G”を着実に実行し、新たな組織体制のもと、住宅、非住宅分野に向けて市場ニーズに沿った商品開発を進めると共に、リフォームやハウジングといった重点市場に特化した営業活動を強化しました。この結果、当第1四半期の連結業績は、売上高31,774百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益2,199百万円(同27.1%増)、経常利益2,320百万円(同18.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,601百万円(同23.3%増)となりました。

(インテリア事業)

壁装事業では、新たな組織体制によるきめ細やかな営業活動を行い、既発行の見本帳の市場浸透に努め、また経済全体の回復基調も追い風となり、中級から高級ゾーンの商品の売上が伸びました。しかしながら、昨年の駆け込み需要に伴う売上伸長には及ばず、壁装材の売上高は13,627百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

床材事業では、住宅市場の低迷が続く中、コントラクトや商業施設、宿泊施設といった非住宅市場への営業活動を強化しました。昨年9月に発行した長尺ビニル床シート「Sフロア」において医療・福祉案件での受注が堅調に推移したほか、複層ビニル床タイル「フロアタイル」において、既存市場である商業施設での採用増に加え、賃貸管理物件における採用が増加し、床材の売上高は9,507百万円(同5.1%増)となりました。

カーテン事業では、新体制のもと組織を横断した営業戦略を再構築し、ハウスメーカーや非住宅分野に向けた活動強化を行いました。また、セミナー等を通じて市場への普及を図ってきた「ソレイユ」において、これまでのプロモーション活動が徐々に市場に浸透しております。しかしながら、前第1四半期において、消費増税前の駆け込み需要の余波が売上を押し上げた反動から、カーテンの売上高は1,829百万円(同9.8%減)となりました。

これらの他、施工代などを含むその他の売上2,313百万円(同9.8%減)を加え、インテリア事業における売上高は27,277百万円(同0.3%減)となりました。一方で、昨年の販売価格の見直しなどにより売上総利益率は改善しており、また販管費が前年同期に比べ減少したことにより、営業利益は2,242百万円(同41.6%増)となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンにおいては、営業力・工事力の強化に加え、関東圏での販売に注力しました。他社との競争が従来にも増して激しくなる中、各種キャンペーン等の営業施策を通じて拡販展開を行いました。住宅市場の低迷からエクステリア市場は厳しい状況が続きました。その結果、エクステリア事業における売上高は3,672百万円(前年同期比4.9%減)、営業利益は57百万円(同58.4%減)となりました。

(照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社においては、照明器具市場でのLEDの普及が一層進む中、光の質や制御性、デザイン性に優れた戦略商品作りを進めました。意匠決定権を持つ設計や照明デザイナーといった顧客に重点を置いた営業活動を行いました。当第1四半期は受注工事物件の遅延もあり、照明器具事業における売上高は836百万円(前年同期比8.3%減)となりました。また、商品在庫のうち部材の評価損41百万円計上などの結果、営業損失は96百万円(前年同期は営業利益15百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は、前期末に比べて3,582百万円減少し、139,494百万円となりました。主な減少要因は法人税及び配当金の支払などです。また純資産は117,467百万円となり自己資本比率は84.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月12日発表のとおりで変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

( 1 ) 四半期連結貸借対照表

( 単位 : 百万円 )

	前連結会計年度 (平成27年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成27年 6 月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,238	32,287
受取手形及び売掛金	44,927	43,036
有価証券	13,300	6,300
商品及び製品	10,543	11,148
原材料及び貯蔵品	1,308	1,404
その他	1,439	991
貸倒引当金	△143	△138
流動資産合計	99,613	95,031
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,559	19,386
その他 (純額)	10,020	9,943
有形固定資産合計	28,579	29,329
無形固定資産		
その他	332	371
無形固定資産合計	332	371
投資その他の資産		
投資有価証券	10,025	10,215
その他	5,122	5,069
貸倒引当金	△597	△522
投資その他の資産合計	14,550	14,762
固定資産合計	43,462	44,462
資産合計	143,076	139,494

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,198	12,908
1年内返済予定の長期借入金	23	23
未払法人税等	1,280	474
賞与引当金	1,341	675
資産除去債務	64	64
その他	3,059	2,886
流動負債合計	18,967	17,032
固定負債		
長期借入金	69	63
役員退職慰労引当金	91	88
退職給付に係る負債	3,909	3,915
資産除去債務	287	288
長期未払金	392	19
その他	599	617
固定負債合計	5,350	4,993
負債合計	24,317	22,026
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	83,033	80,307
自己株式	△1,587	△375
株主資本合計	115,067	113,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,060	4,254
退職給付に係る調整累計額	△368	△342
その他の包括利益累計額合計	3,691	3,911
新株予約権	—	2
純資産合計	118,758	117,467
負債純資産合計	143,076	139,494

( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 ( 四半期連結損益計算書 )  
 ( 第 1 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月 30 日 )	当第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日 )
売上高	32,123	31,774
売上原価	23,325	22,577
売上総利益	8,797	9,197
販売費及び一般管理費	7,066	6,997
営業利益	1,731	2,199
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	50	63
受取保険金	125	0
不動産賃貸料	21	22
その他	33	41
営業外収益合計	240	134
営業外費用		
支払利息	0	0
手形売却損	1	0
自己株式取得費用	—	8
その他	2	4
営業外費用合計	4	14
経常利益	1,967	2,320
特別利益		
固定資産売却益	0	0
その他	—	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	18	22
その他	0	—
特別損失合計	18	22
税金等調整前四半期純利益	1,948	2,300
法人税、住民税及び事業税	385	476
法人税等調整額	264	222
法人税等合計	650	699
四半期純利益	1,298	1,601
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,298	1,601



(四半期連結包括利益計算書)  
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日)
四半期純利益	1,298	1,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	489	194
退職給付に係る調整額	25	26
その他の包括利益合計	515	220
四半期包括利益	1,813	1,821
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,813	1,821

( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

( 継続企業の前提に関する注記 )

該当事項はありません。

( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 )

該当事項はありません。

( セグメント情報等 )

セグメント情報

I 前第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月30日 )

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

( 単位 : 百万円 )

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	27,366	3,861	895	—	32,123
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	16	△16	—
計	27,366	3,861	911	△16	32,123
セグメント利益	1,583	137	15	△4	1,731

( 注 ) 1. セグメント利益の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日 )

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

( 単位 : 百万円 )

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	27,277	3,672	824	—	31,774
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	11	△11	—
計	27,277	3,672	836	△11	31,774
セグメント利益又は 損失 ( △ )	2,242	57	△96	△2	2,199

( 注 ) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。